

ニュース

第六十六回グローバル化
社会の教育研究会開催

十月五日、六十六回目となる「グ

ローバル化社会の教育研究会」が
東京都立白鷗高等学校附属中学校
(東京都台東区)で開かれ、教育関
係者を中心に約二十人が参加した。
中学一・二年生が在籍する東校
舎の授業を見学したほか、同校の
田中幸徳副校長が「都立中高一貫
校の新たな展開―帰国生入試や多
文化授業」をテーマに話題提供を
行い、意見を交換し合った。

東京都立白鷗高等学校附属中学
校は今年で一三〇周年を迎える。
二〇〇五年に全国の公立学校で初
めて中高一貫校となった。

一学年あたり、中学校は四学級、
高校は六学級。都内全域からの受
検が可能で、二〇一八年度から中
学校において海外帰国・在京外国
人生徒枠入試が設定されている。
初年度となる今年、同枠での入学
者は外国籍生徒一人を含む二十四
人で、滞在国内は二十カ国に及ぶ。

訪問当日、参加者はまず午前中

の二時間、中学一・二年生の各ク
ラスの授業を見学した。英語では
レベル別に外国人講師による少人
数指導が行われ、音楽では日本の
伝統文化を継承している同校なら
ではの三味線の授業が公開された。
いずれの授業でも生徒参加型の活
発な発言が見られた。

その後、同校の善本久子校長が
あいさつに立ち、同校の伝統や沿
革に触れ、「多様性の尊重を基盤
に、国際的な『競争』と『協働』の
両方ができる人材の育成」を目指
していると述べた。

続いて、田中副校長が本年度か
ら本格的に始まったグローバル人
材育成のための取り組み等につい
て具体的に説明。「開拓精神」を教
育理念に、国際色豊かな環境で英
語や理数教育、国際交流等に力を
入れていると話し、英語教育推進
校、オリンピック・パラリンピッ
ク教育アワード校、国際交流リー
ディング校、海外学校間交流推進
校に認定されていると紹介した。

来年度から中学校でも二年生以上
で第二外国語の授業を行う予定だ。
参加者からは「教師と生徒が真
剣に取り組んでいる様子が伝わっ
てきた。今後が期待される」二つ
の校舎を上手に使い、全学年によ

い緊張感を持たせている」等の声
が聞かれた。

お知らせ

●第39回海外子女文芸作品コンク
ール作品集『地球に学ぶ』

海外子女教育振興財団が毎年発
行している海外子女文芸作品コン
クルの作品集が12月に発売され
る予定です。詩・短歌・俳句・作
文の4部門、合計4万点を越える
応募作品から選ばれた約200点
の優秀作品と、佳作入選者の一覧
を掲載します。

海外に在住する小・中学生が言
語・風習・気候風土・治安など、
日本と異なる生活環境のなかで出
会った感動や感じたこと、考えた
こと等を、自分のことばでそれぞ
れの作品に映し出して、国際
理解教育の生きた教材としても高
い評価を受けています。

海外で子どもたちはどう過ごし、
何を感じているのでしょうか。子
どもたちの生の声が伝わってくる
貴重な一冊です。

掲載作品例

〈短歌・特選〉

ハゲタカが青空優雅に飛んでいる

木登りリスがジャンプをしている

バンクーバー補習授業校

小6 野崎 慶大

夏の空どうして僕はここにいる
見上げる雲に日本を想う

インディアナ補習授業校

中1 富岡 眺

〈俳句・特選〉

ハイビスカスきれいないろにそま
つてる

ジャカルタ日本人学校

小4 福岡 南波

購入申し込み・問い合わせ先

海外子女教育振興財団

情報サービスチーム

URL <https://www.joes.or.jp/>

publish/

※在外教育施設、本財団の維持会
員企業・団体および学校会員に
は寄贈予定。

新規ご入会維持会員(9月末現在)

・岡山理科大学附属高等学校

訂正・おわび

弊誌8月号お知らせの「201
8年度日本人学校校長研究協議会
の開催予定」に間違いがありまし
た。東アジア・大洋州地区の開催
は「政府共催」です。訂正してお
わび申し上げます。